

(様式1)

令和4年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 007	提案機関名 三浦市農業協同組合
要望問題名 畑地土壌の地力の維持増進方法の検討	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 <p>近年、ダイコン栽培では、黒斑細菌病など病害の発生やコブラ症などの生理障害の拡大が認められている。20年ほど前までは堆肥投入が盛んであったが、堆肥の入手が難しくなったことや散布労力の不足から堆肥投入が難しくなったことで、有機物施用の減少による地力の低下が原因の可能性が高い。</p> <p>一方で、肥料取締法の改正により色々な資材の開発が可能となってきている。</p> <p>このため、地力の維持増進をはかり土壌の物理性や生物性などが改善できるような、現場ニーズに対応した堆肥等の有機物や土づくりのための資材の検討とともに、資材ごとの利用方法等についての検討をお願いしたい。</p>	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	I 三浦半島地区事務所研究課 II 生産環境部土壌環境研究課
対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 2 環境に優しい環境保全型施肥技術の開発 (1) 適正施肥のための土壌環境モニタリング イ 有機質資源連用試験 (II) エ 地力保全対策診断調査 (I) (3) 資材や施肥法等の改善による省力・減肥技術の開発 (I II)		
対応の内容等	三浦半島地区事務所では、農協等と連携し、現地の実態調査を実施するとともに、三浦半島地域の栽培体系、作業体系を想定し、各種新規肥料や有機質資材の地域に適した施用方法とその効果を検討するため、上記試験研究課題の中で実施する予定です。 また、生産環境部土壌環境研究課では、有機質資材や新規肥料の施肥特性や土壌環境改善効果の検討を上記試験研究課題で実施しており、次年度以降も継続する予定です。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			